

5月中旬発刊

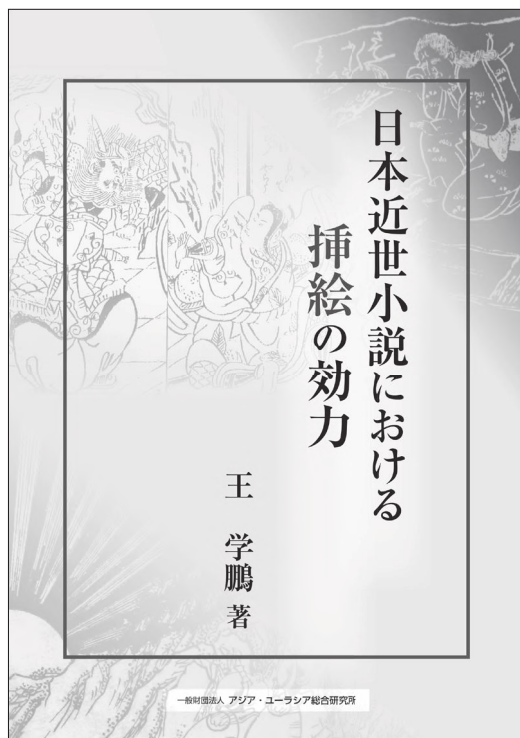
日本近世小説における挿絵の効力

王 学鵬 著

江戸時代より花開き、独自の発展を遂げた「挿絵」。魅力のある「挿絵」は商品価値を高める存在にまでなった。

河南省出身の著者が10年間研究し、今までにない、ジャンルを跨いだ対読者的な視点から分析した本著書。

浮世草子、赤本、滑稽本より五作品の「挿絵」は何を語っているのでしょうか。



第一章

浮世草子における
挿絵について

第一節 西鶴本の挿絵について

第二節 『けいせい色三味線』と
『世間娘気質』の挿絵を
巡って

その一 両作の文字情報について

その二 『色三味線』の挿絵について

その三 『娘気質』の挿絵について

第二章

『桃太郎昔語』に対する再考

その一 穿ちについて

その二 絵解きについて

その三 歌舞伎趣味について

その四 台詞を巡って

第三章

『滑稽富士詣』の書き入れを
巡って

第一節 初編から三編までの翻字
と略解、及び分析

初編 上巻

初編 下巻

二編 上巻

二編 下巻

三編 上巻

三編 下巻

第二節 初編から三編までの検討

第三節 四編から六編までの翻字
と略解、及び分析

四編 上巻

四編 下巻

五編 上巻

五編 下巻

六編 上巻

六編 下巻

第四節 四編から六編までの検討

ご注文は JRC へ FAX: 03-3294-2177

● JRC より全ての取次への出荷が可能です。 ● 返品は長期にお受けします。

ご注文 申込書	貴店名・帳合	ご注文	発行：一般財団法人 アジア・ユーラシア総合研究所
		冊	日本近世小説における挿絵の効力 王 学鵬 著 本体価格：3,000円+税 ISBN978-4-909663-39-9

発行：一般財団法人 アジア・ユーラシア総合研究所

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-1-12 桜美林大学千駄ヶ谷キャンパス1階